

保険者機能強化の取り組み

地域包括ケアシステムの推進のためには、市町村がその保険者機能をこれまで以上に発揮し、地域の実情に応じた施策を実施していく必要があります。その実現に向けて、データに基づく地域課題を分析し、その結果をもとに具体的な計画を立て、目標値を定めて施策を実施していくPDC Aサイクルの強化に取り組んでいます。

このひとつに、国から示された評価指標である保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の評価結果の公表を実施します。

■令和6年度保険者機能強化推進交付金（市町村分）の評価結果

評価指標	保険者機能強化推進交付金							介護保険保険者努力支援交付金							合計		
	目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする		目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する		目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する		目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する		目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する		目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する		目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む			
	体制取組	活動	体制取組	活動	体制取組	活動	成果	体制取組	活動	体制取組	活動	体制取組	活動	成果	推進	支援	推進 + 支援
配点	64	36	68	32	64	36	100	52	48	64	36	68	32	100	400	400	800
全国平均	46.35	9.83	42.36	17.46	33.83	7.21	48.61	31.41	20.11	42.44	12.08	49.28	12.79	48.61	205.64	216.72	422.35
福津市	64	18	60	20	28	3	50	46	24	49	21	68	20	50	243	278	521

■保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の実績

年度	機能強化推進交付金		努力支援交付金		総合評価			
	得点	交付金	得点	交付金	得点合計	交付金合計	県内順位	全国順位
R2	1,167/1,575	12,584,000円	593/870	12,840,000円	1,760/2,445	25,424,000円	5/60	110/1,741
R3	1,159/1,590	12,617,000円	593/885	12,903,000円	1,752/2,475	25,520,000円	5/60	107/1,741
R4	985/1,375	12,421,000円	410/730	11,239,000円	1,395/2,105	23,660,000円	7/60	210/1,741
R5	908/1,355	8,333,000円	420/830	9,340,000円	1,328/2,185	17,673,000円	27/60	504/1,741
R6	243/400	5,229,000円	278/400	11,177,000円	521/800	16,406,000円	13/60	251/1,741

令和6年度は多くの項目で全国平均を上回っています。一方で、保険者機能強化推進交付金の目標Ⅲ「介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する」においては全国平均を下回り、機能強化推進交付金の得点率も令和5年度を下回りましたが、県内及び全国順位は令和5年度よりも上がっています。なお、令和6年度に指標が改正され、交付金の役割分担の明確化、プロセス評価指標の重点化、中間アウトカム・アウトプット指標の創設、アウトカム指標による交付金分配枠の創設、保険者機能強化に意欲的に取り組む自治体に対する交付金分配枠の創設、評価結果の見える化推進が行われました。

今後は、各指標の内容を配慮しながらも評価だけに捉われず、高齢者の自立支援・重度化防止等により有効な取組を実施していく必要があります。

<保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金>

平成30年度に、市町村の自立支援・重度化防止等に関する取組を支援する交付金として保険者機能強化推進交付金が創設され、また、令和2年度から、予防健康づくりに資する取組の支援に重点化した介護保険保険者努力支援交付金が創設されました。

市は交付金を活用して、高齢者の自立支援、重度化防止等の取組を推進するとともに、計画の進行管理について、交付金に係る評価結果も活用して行います。